

Nagoya University Medical Museum
Small Exhibit 6th

ミニ展示会

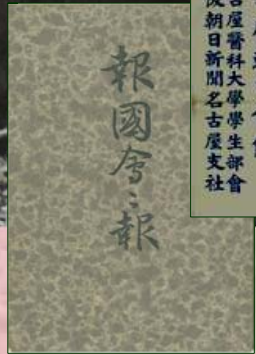
戦争と大学

—1931～1945 官立名古屋医科大学・名古屋帝国大学—

五 傷 傷

第二表

		全	治	不	具	死	七	計
頭	部	50	1					
四	肢	162	50					



入場料 無

日時 十月九日(金)午後六時半

場所 名古屋朝日會館

主催 名古屋醫科大學學生會
大阪朝日新聞名古屋支社

第三回綜合文化講演會

一鳥と飛行機
一醫學の文化的特質
一日支問題の過去と現在



2014 2. 12 WED - 5. 30 FRI

平日 9:00-20:00 3月24日-3月31日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日: 日・祝日、3月22、29日

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

入場無料

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505

名古屋大学の前身校である県立愛知医科大学は、1931(昭和6)年に官立移管により名古屋医科大学となり、1939(昭和14)年には名古屋帝国大学医学部となりました。

官立名古屋医科大学・名古屋帝国大学の時代は、1931年の満州事変から、日中戦争、太平洋戦争を経て、1945年の敗戦までの時代と重なります。

「戦争と大学 ミニ展示会」は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵する史料の中から、名古屋空襲により甚大な被害も受けた、この戦争の時代の官立名古屋医科大学・名古屋帝国大学における研究・教育・医療について、史料、写真等により、展示公開します。



名古屋大学医学部史料室は、附属図書館医学部分館の4階にあります。
 医学部史料室では、名古屋大学の源流である明治4年の名古屋県仮医学校設立前後の史料を中心とし、東海地方の医学の歴史的発展過程、さらに広く医学・医療史に関係する古医書、歴史的医療器具、古写真、絵画等を所蔵しています。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。

